

平成26年 近畿地区の造船業・船用工業の現況

近畿運輸局海事振興部

I. 造船業

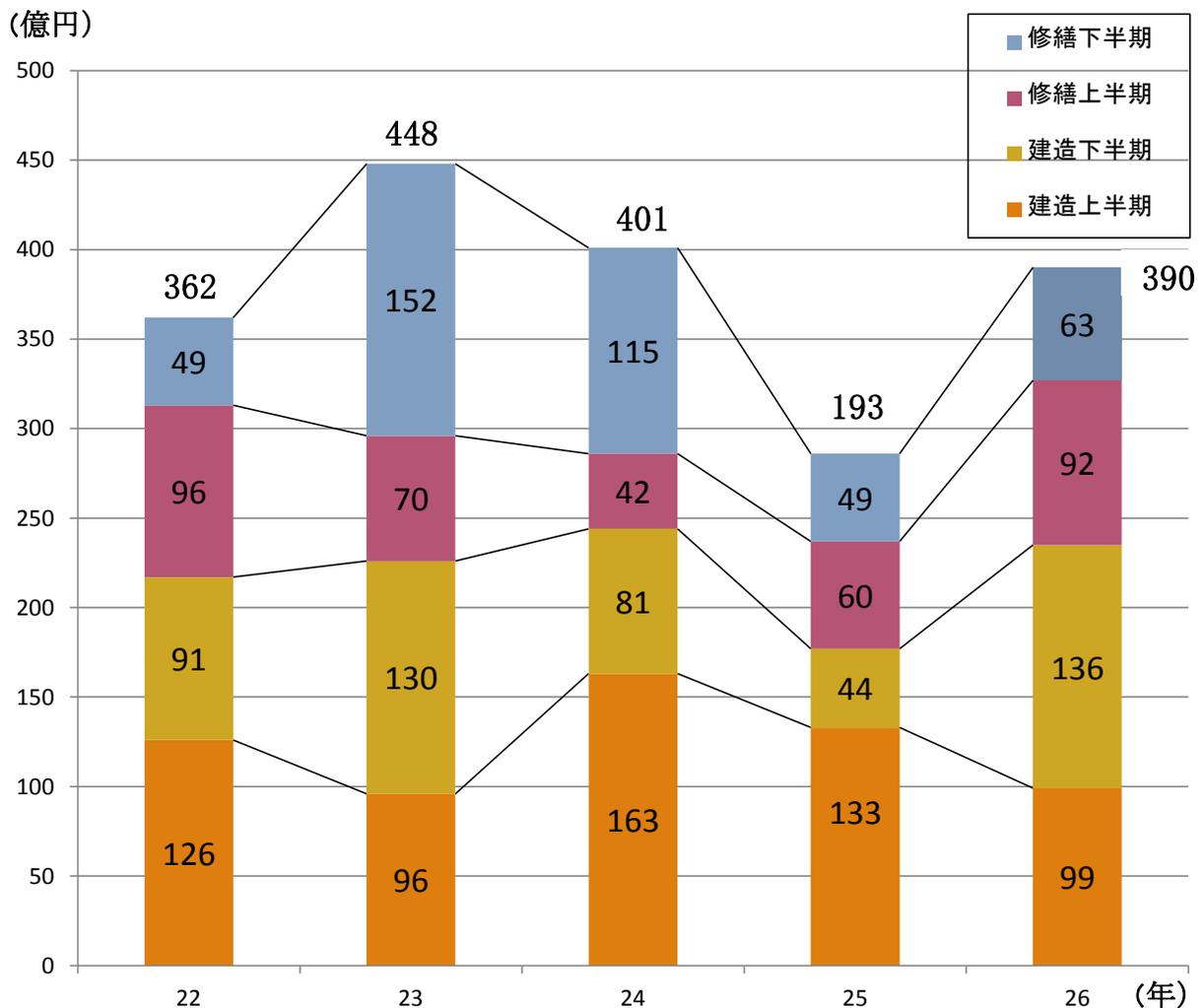
1. 造船業の概要

近畿運輸局管内の造船事業者は、平成27年3月末現在で56社58工場です。

平成26年の総売上高(建造及び修繕の合計)は390億円で前年の上半期と比べると36.4%の増加となりました。

内訳としては建造で235億円(前年比32.8%増)、修繕で155億円(前年比42.2%増)となりました。

図I-1 総売上高の推移



※20トン未満及び長さ15m未満の船舶の実績についても計上
 ※総トン数を有しない船舶(艦艇等)の実績についても計上

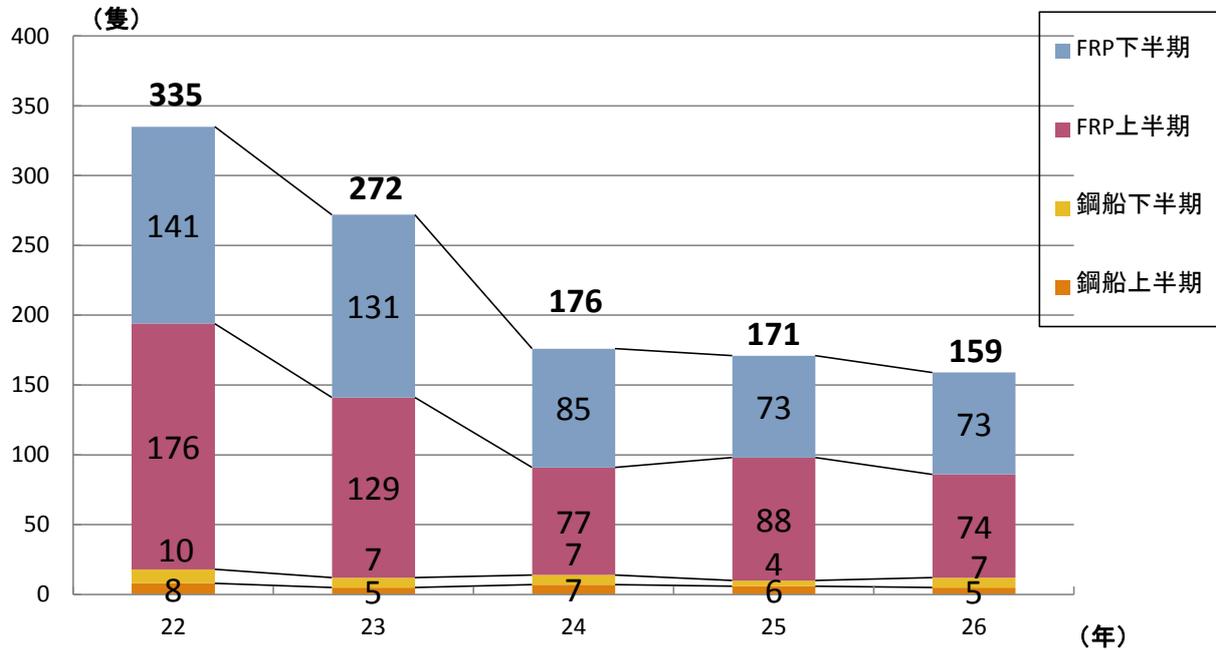
本資料では近畿運輸局管内(大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県)の実績を示している。
 (兵庫県については神戸運輸監理部が管轄)

2. 建造実績

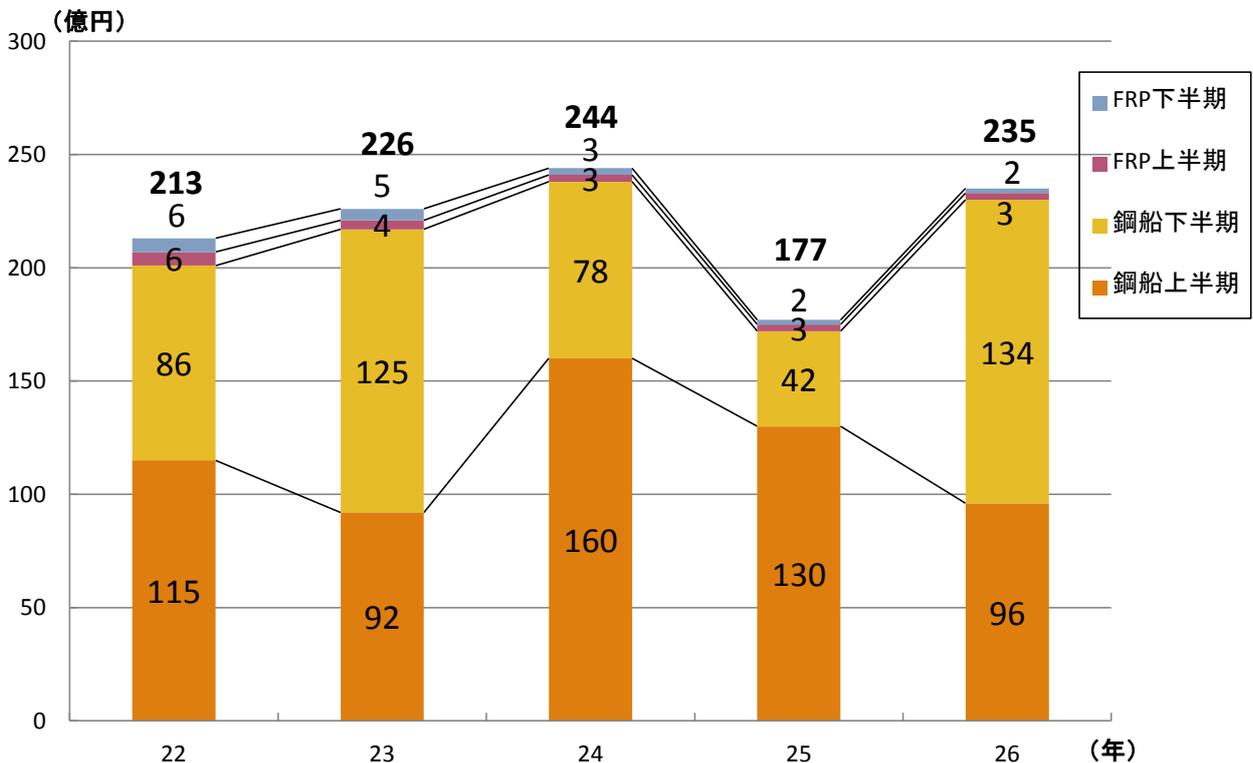
平成26年の建造実績は、159隻、235億円で、前年と比べると隻数で7%減、売上高では32.8%増と、隻数は減少したものの売上高は増加しました。

内訳としては、FRPは147隻、5億円(前年比8.6%減、前年同)で、鋼船は12隻、230億円(前年比20%増、33.7%増)でした。

図 I - 2 建造隻数及び売上高の推移



※FRPの数字については木船も含む



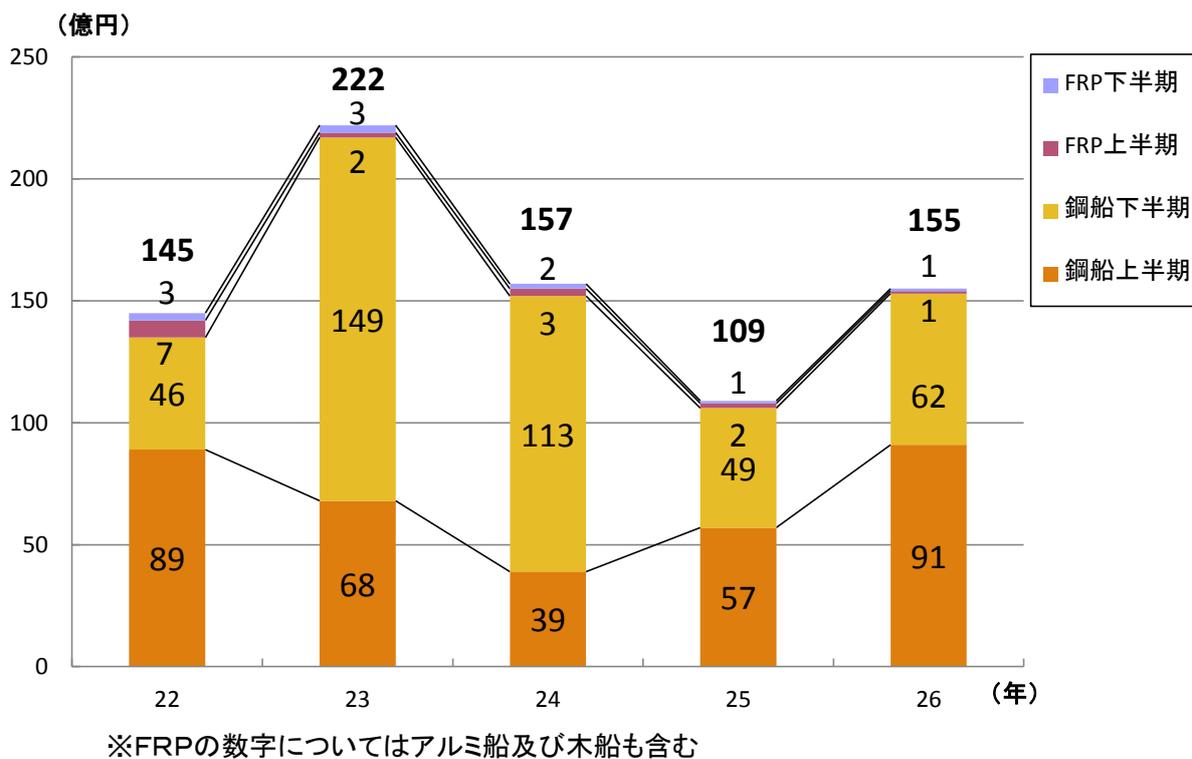
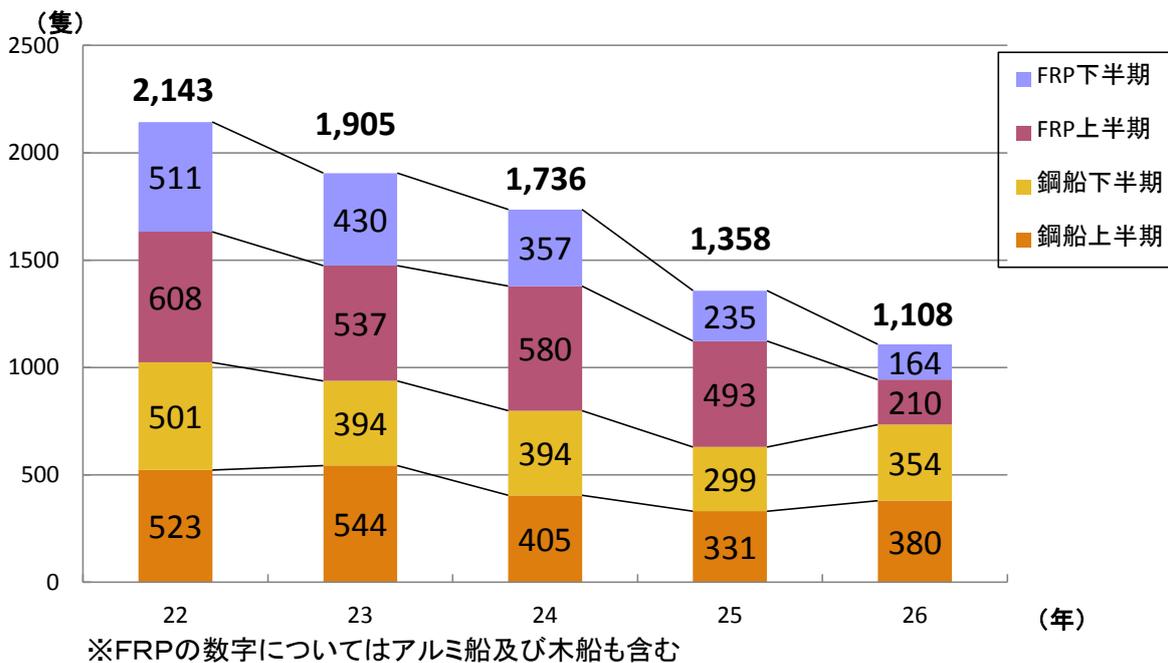
※FRPの数字については木船も含む

3. 修繕実績

平成26年の修繕実績は、1,108隻、155億円で、前年と比べると、隻数で18.4%減、売上高で42.2%増と、隻数は減少しましたが売上高は増加しました。

内訳としてはFRPは374隻、2億円(前年比48.6%減、28.6%減)で、鋼船は734隻、153億円(前年比16.5%増、44.3%増)でした。

図 I - 3 修繕隻数及び売上高の推移



Ⅱ. 船用工業

1. 船用工業の概要

近畿運輸局管内の船用工業事業者は、平成27年3月末現在で128社130工場です。

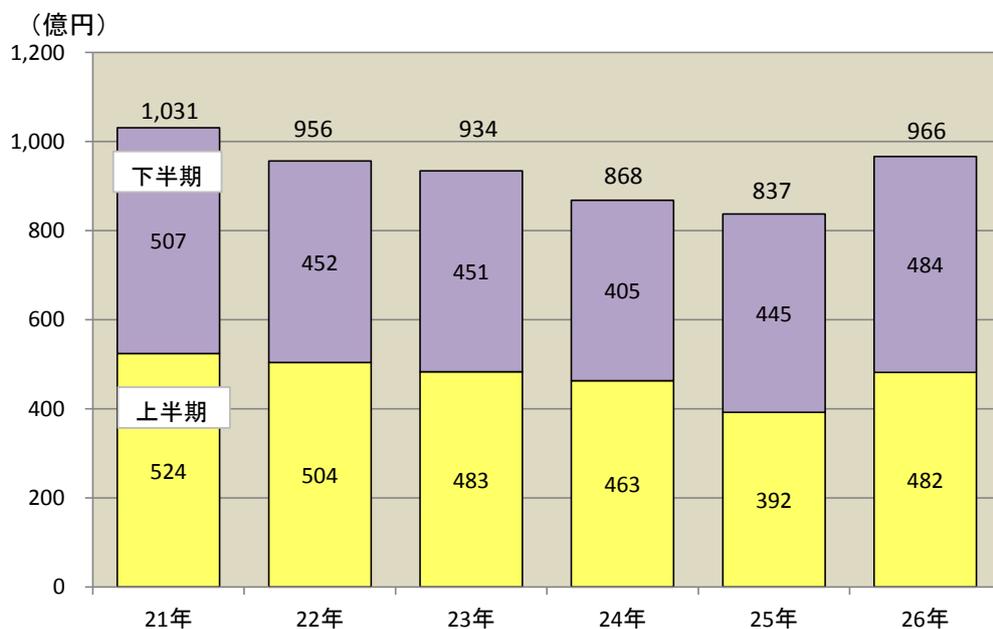
平成26年の総生産高(生産及び修繕の合計)は1,011億円で前年(平成25年実績886.7億円)と比べると14%の増加となりました。

2. 生産実績

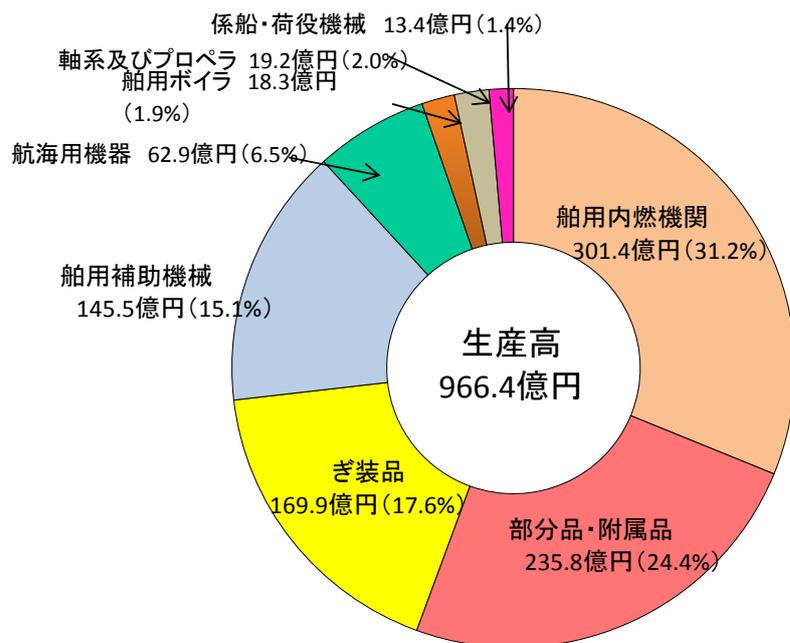
平成26年の生産高は966.4億円(前年比15.5%増)で、内訳としては船用内燃機関は前年比24.2%の増加、部分品・附属品、船用補助機械はいずれもおよそ11%の増加、ぎ装品は5.1%の増加、航海用機器と係船・荷役機械は減少しましたが、その他の品目は全て増加となりました。

品目別生産高で見ると、船用内燃機関が301.4億円と最も多く、次いで、部分品・附属品が235.8億円、ぎ装品が169.9億円、船用補助機械が145.5億円となっており、これら4品目で全体の約88%を占めています。

図Ⅱ-1 生産高の推移



図Ⅱ－２ 品目別生産高及び構成比



3. 修繕実績

平成26年の修繕高は45.4億円で、前年(平成25年実績41.5億円)と比べると9.4%の増加となりました。品目別で見ると、船用補助機械が22.6億円、船用内燃機関が21.7億円となっており、この2品目で修繕高の約98%を占めています。

図Ⅱ－３ 品目別修繕高及び構成比

